



めだか通信216号

桐生市教育支援センター「あぷろーち」



梅雨入りと報道された途端、梅雨の中休みとなり35度以上の猛暑日があり季節が猛烈な速さで進んでいると感じました。その後、梅雨らしい日もありましたが梅雨明けを感じさせる天気が続く、猛暑になる予感がします。今年もめだかの赤ちゃんが誕生し、新しくなった水槽の赤ちゃん専用水槽で元気に泳ぎ、すくすくと成長しています。また、ジャガイモの収穫を終え、ピーマン、ナス、キュウリ、トマトなどの夏野菜も収穫できるようになりました。6月は収穫した野菜を使って調理実習「カレー作り」が無事に実施できました。

あと3週間あまりで夏休み。曜日の関係で2日多い44日間の夏休みとなり、自由に使える時間が1056時間あります。普段できないことにチャレンジしてほしいと思います。特に、中学3年生はオープンスクールに参加をするなど進路について考える絶好の機会となります。課題に取り組むとともに暑さに負けない体力作りをしながら、楽しく充実した夏休みを送ってくれることを願っています。



【調理実習①（カレー作り）】

自ら進んで活動すること（自主性）や仲間と協力し活動すること（協調性）を目標に、今年度初めての調理実習（カレー作り）を行いました。この日のために、ジャガイモ、ニンジン、ナス、キュウリ、ピーマンなどを畑で育て、カレーライスやサラダバイキングの食材として活用しました。当日は、中学生が中心になって積極的に活動を進めてくれました。たくさんの食材を刻んだり、炒めたりと協力しながら美味しいカレーを作り、あぷろーちで収穫した新鮮な野菜を加えたサラダバイキングも準備し、美味しくいただくことができました。大盛りのカレーを食べる通所生、お代わりを2回した通所生もありました。後片付けも力を合わせ最後までしっかりやり、いつもと違う子どもたちの姿がたくさん見られ、成長を感じました。



【支援センター産の野菜を刻んで準備をしています】



【材料を炒めています】



【サラダバイキング～】



【美味しいカレーとサラダが完成しました！】



【スクールカウンセラーによる特別授業】

福島律子SCによる特別授業がありました。感情リテラシーの向上を目的に「自分の気持ちを考えよう」というテーマで感情を表す言葉を書き出し、どんなときにそんな気持ちになるのか考えました。

感情リテラシーとは、自分や他者の感情を正確に認識し、理解し、適切に表現・管理する能力のことです。感情に振り回されるのではなく、感情をコントロールし、よりよい人間関係を築いたり、ストレスを管理したりするために役立つものです。リラックスした雰囲気の中でそれぞれが、自分の意見を言っていました。

10月に第3回の授業を予定しています。



【授業の様子】

【裏面に続く】

【「あぶろーち」での活動の様子】

〔学習〕

基本は「自学自習」です。自分で課題を持ってくる取り組みます。また、学習時間も自分で決めます。タブレットを使った調べ学習をすることもあります。わからないことや質問には指導員や職員が対応しています。中学生は中間試験や期末試験を受けることもあります。



【国語の学習】



【英語の学習】

〔自主活動〕

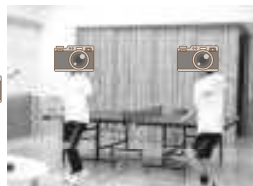
一人ひとりが、自分が好きなことに自主的に取り組みます。カードゲームやスポーツなどみんなで一緒に活動を行うこともあります。強制するものではなく、子どもたちの自主性や得意・不得意などを尊重しながら活動を行っています。活動を通して個を伸ばし、集団で活動する良さや互いを思いやる心などを学んでほしいと願っています。また、自分の行動に自信を持ち、自分で決めて最後までやり遂げられるよう支援をしています。



【手芸作品】



【卓球】



【ダンス】

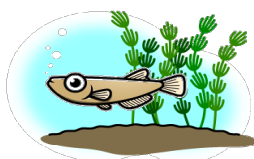


【収穫】



【カードゲーム】

【メダカのつぶやき】「4番 サード 長島 背番号3」



令和7年(昭和100年)6月3日に読売ジャイアンツ終身名誉監督の長嶋茂雄さんが亡くなりました。小学生の頃、学校から帰ってくるとジャイアンツの帽子をかぶり20円を持って駄菓子屋に行き、神社の境内で三角ベースボールをやっていた野球少年にとって、背番号3はヒーローでした。

昭和という時代に燦々と輝きを放った「ミスタープロ野球」、「ミスタージャイアンツ」、六大学、プロ野球を通じて史上最高の三塁手と讃えられ、好機を逃さぬ打撃と勝負強さで「燃える男」とも呼ばれていました。躍動感あふれる華麗な守備でファンを魅了し続け、天覧試合でのサヨナラ本塁打など記録よりも記憶に残るプレイヤーでした。昭和49年10月14日、後楽園球場での引退セレモニーで「我が巨人軍は永久に不滅です。」の名言を残し、球場を一周した姿は忘れられません。高校から帰ってからテレビに釘付けになり、引退セレモニーでの言葉を聞いて、なぜか大粒の涙がこぼれていたことを50年以上経った今でもはっきりと覚えています。

長嶋選手の凄さはタイミングを狂わされても、大きな変化球で体勢を崩されても来た玉を打つことが出来たところだと言われていますが、その天才は誰よりもたくさんたくさんバットを降り続けた努力の天才でもあったことを忘れないでください。

前向きに努力を続ける通所生を応援しています。

【今後の予定】

7月上旬 運動日②

7月上旬～中旬 チャレンジ期間

7月上旬 ふれあい活動③「七夕飾り」

7月中旬 「あぶろーち」報告会① 14:00

7月中旬 調理実習②「手作りピザ」

7月中旬 終わりの会(終業式)

8月中旬 (水・木) 通所日

(勉強サポートとかき氷)

9月上旬 始めの会(始業式)

9月上旬～中旬 チャレンジ期間

9月中旬 運動日③

9月中旬 「あぶろーち」説明会②14:30



令和7年7月1日発行
0277-46-6314